

歴史能力検定 第43回 (2024年)

2級—日本史 解答・解説

1—④	2—②	3—①	4—③	5—②
6—②	7—④	8—③	9—②	10—④
11—③	12—④	13—③	14—③	15—④
16—①	17—③	18—④	19—③	20—③
21—①	22—①	23—④	24—②	25—①
26—④	27—③	28—②	29—①	30—②
31—②	32—③	33—④	34—①	35—①
36—②	37—③	38—②	39—③	40—①
41—③	42—③	43—③	44—②	45—①
46—庚午年籍	47—正法眼蔵	48—間部詮房		
49—五榜の掲示	50—国民皆兵			

1

- ①倭王武の使者が皇帝にもたらした上表文が引用されているのは、『宋書』倭国伝。②倭の軍が高句麗の広開土王（好太王）の軍と交戦したことが記されているのは、高句麗の広開土王（好太王）碑の碑文。③邪馬台国は、伊都国に一大率を常駐させ、狗奴国と対立していた。
- ②が長安。①は登州、③は揚州、④は明州。
- ①646年に改新の詔を出したのは孝徳天皇。
- 庚午年籍は、670年に天智天皇のもとで作成された全国的戸籍。大宝律令制定以降、氏姓を正す根本台帳として永久保存することを義務づけられたが、現存していない。
- ③律令の補足・修正法は、式ではなく格。施行細則は格ではなく式。
- ②良民の男子には2段、女子にはその3分の2（「三分が一減せよ」）である1段120歩の口分田が班給された。
- ①「玉虫厨子」は法隆寺、③「天寿国繡帳」は中宮寺に伝わる文化財。④「両界曼荼羅」は、神護寺と教王護国寺のものがよく知られている。
- I 「白村江の戦いの後、唐・新羅の侵攻が想定されるなか、筑前に水城などが築かれた」のは、660年代。III 「東国の美濃に移って東国豪族らを動員した大海人皇子によって、大友皇子が倒された」のは、670年代。II 「豊前の宇佐神宮の神託によって、称徳天皇が道鏡に皇位を譲ろうとする事件がおこった」のは、760年代。
- ③9世紀の文化は弘仁・貞觀文化。

9. ①『文華秀麗集』の編集が進められたのは、嵯峨天皇の時代。③国ごとに風土記がつくられるようになったのは、元明天皇の時代、④国分寺・国分尼寺が建立されたようになったのは、聖武天皇の時代。

2

- ①10世紀に中国を統一したのは宋（北宋）。女真族の金に圧迫され、12世紀に南宋となった。②日宋貿易では宋銭や陶磁器が輸入された。日本からは金・水銀・硫黄・刀剣・漆器・扇などが輸出された。③室町時代の日明貿易では、日本からの遣明船に勘合の持参が義務づけられた。
- ①叡尊は律宗の僧で、西大寺を中心に戒律の復興につとめ、慈善事業など社会活動をおこなった。②明惠（高弁）は華嚴宗、④貞慶は法相宗の僧。
- ①平治の乱に敗れ、伊豆に流された。②後鳥羽上皇ではなく、後白河法皇から東国支配権を認められた。③平氏を滅ぼした後、奥州藤原氏を滅ぼした。
- ③比企能員は北条時政によって滅ぼされた。
- II 「佐々木導誉（高氏）が、茶の湯などの諸芸能に奇才を發揮した」のは14世紀。I 「村田珠光」が編みだした侘茶の方式は、III 「豪商の武野紹鷗」らを経て、千利休によって完成された。武野紹鷗が生まれたのは、村田珠光が死去した1502年。
- 道元の著作は『正法眼蔵』。
- ④六波羅探題は、室町幕府ではなく、鎌倉幕府によって京都におかれた地方機関。

16. ①北条氏政は、小田原を拠点とした、早雲一氏綱一氏康一氏政一氏直の5代で知られる戦国大名の北条氏。②北条義時は2代、③北条時政は初代、④北条高時は14代執権。
17. ①霜月騒動は1285年、②宝治合戦は1247年、④中先代の乱は1335年。
18. ④足利義満の時代（将軍在職1368～94年、1408年に死去）の出来事は1392年の南北朝の合体。①応永の外寇は1419年、②正長の徳政一揆は1428年、③明応の政変は1493年。

3

19. I 「この地の合戦で、織田信雄や徳川家康と対戦した」の「この地」は、b の小牧・長久手（尾張）。II 「この地の合戦で、織田信長の有力家臣だった柴田勝家を破った」の「この地」はc の賤ヶ岳（近江）。a は小田原。d は石山（大坂）。
20. 聚楽第は、豊臣秀吉が京都に建てた城郭風の邸宅。安土城は織田信長が近江に築いた城郭。1588年、秀吉は聚楽第に後陽成天皇を迎えた。後陽成天皇は、1586年に正親町天皇の譲位を受けて即位した。
21. 徳川家康を筆頭に、①前田利家・毛利輝元・小早川隆景・宇喜多秀家・上杉景勝が大老に任命された（小早川隆景の死後、五大老と呼ばれた）。③石田三成、②浅野長政、増田長盛、④長束正家、前田玄以は五奉行。
22. I オランダは1609年に、イギリスは1613年に、平戸に商館を開いた。II 「中国船を除く外国船の寄港地を、平戸と長崎に制限した」のは1616年。III 「ポルトガル船の来航を禁止した」のは1639年。
23. 福島正則は、1619年、広島城の修理をした際に、幕府に届けを提出して正式な許可を得たわけではなかったなどとされ、改易となった。高山右近は、織田信長や豊臣秀吉に仕えたキリストン大名で、江戸幕府が禁教令を発布した後、1614年にフィリピンのマニラに追放された。バテレン追放令は、豊臣秀吉によって1587年に出された。
24. ①山県大弐が死刑に処せられる明和事件がおこったのは、10代將軍徳川家治の時代の1767年。③糸割符制度は徳川家康の時代の1604年に整備された。④元禄小判は金の含有量を増やしたのではなく、減らした小判であった。
28. 正徳の政治に関わった側用人は間部詮房。
25. ②寛政の改革時の七分積金。③大御所時代に出された異国船打扱令の一部。④天保の改革時の株仲間の解散に関する史料。
26. ①千石碇と②唐箕は選別具。③龍骨車は揚水具。
27. ③「寒暖計や摩擦発電器（エレキテル）を発明し」たのは平賀源内。

4

28. ①チャーチンはロシア使節、③パークスはイギリス公使、④ロッシュはフランス公使。

29. ②はガダルカナル島、③はサイパン島、④はジャワ島。
30. ①は北里柴三郎、③は中江兆民、④は黒田清輝ら。
31. III 「ボンベイ航路が開設された」のは、1893年。II 「四カ国条約」が締結されたのは、1921年。I 「大西洋憲章が成立した」のは、1941年。
32. ①1930年代前半、イギリスなどは円安を利用した日本の輸出拡大をソーシャル＝ダンピングと非難した。②「尊王攘夷運動が激化し」たのは1860年代。④「日本とアメリカとの間」の貿易摩擦は、1980年代に激化した。
33. 奇兵隊は幕末の長州藩で組織された。女子挺身隊は、1944年に組織された。14～25歳の未婚の女性が加入し、機械・航空機部品工場や農業労働などに従事した。
34. ②徳川光圀は17世紀の水戸藩主。③徳川家斉は11代將軍。④徳川家茂は14代將軍。
35. ②は日米修好通商条約、③は日米安全保障条約、④は日米相互協力及び安全保障条約の一部。
36. ②咸臨丸の艦長は勝海舟。
49. 1868年3月15日に掲げられたのは五榜の掲示。

5

37. ③大久保利通について述べた文。木戸孝允は長州出身。
38. ②1872年（明治五年）に制定されたのは学制。
50. 徵兵令の理念・方針を示す語句は、国民皆兵。
39. ③美濃部達吉ではなく吉野作造について述べた文。「政治評論」とは民本主義の政治評論のことである。
40. I 「廃藩置県」が断行され、「戸籍法」が制定されたのは1871年。II 「三新法が制定された」のは1878年。III 「市制・町村制」は1888年、「府県制・郡制」は1890年に制定された。
41. ③「普通選挙ノ制ヲ定メ」などから加藤高明だと判断できる。
42. ③【B】の「決議」は、日本社会党の村山富市内閣時に採択された。
43. ①朝鮮戦争の勃発にともなって組織されたのは警察予備隊。②ベトナム戦争が北爆で激化したとき、支持を表明したのは佐藤栄作首相。④湾岸戦争は1972年の沖縄本土復帰後の1991年に勃発した。「沖縄の本土復帰を求める声」が強まったのはベトナム戦争時。
44. ②初代朝鮮総督は寺内正毅。
45. ②三・一独立運動は1919年に、日本の植民地であった朝鮮でおこった。③五・三〇事件は1925年、④天安門事件は1989年に、中国でおこった。